



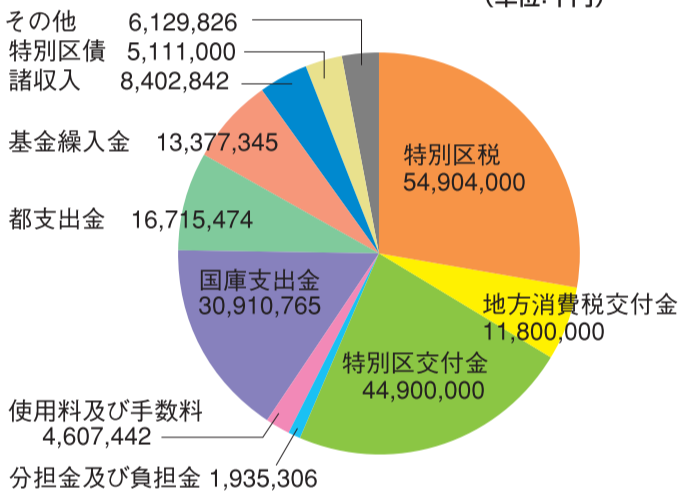
予算特別  
委員会  
質疑から

# 2023年度 品川区予算の概要と注目すべき論点

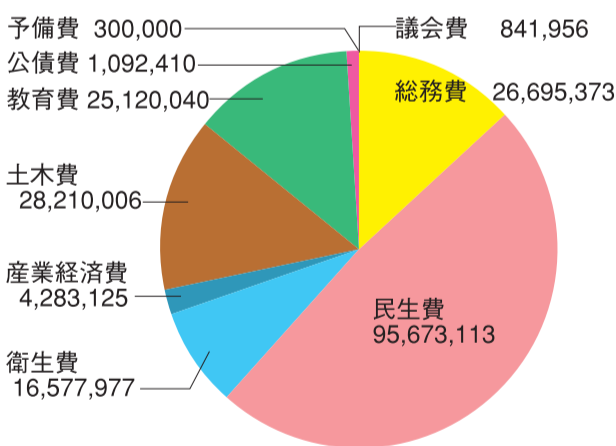
品川区の2023年度予算は特別会計を含む総予算は2,729億3,447万円。一般会計予算は前年比5.1%増1,987億9,400万円となります。歳入に占める特別区税及び地方消費税交付金、特別区交付金、国庫支出金の前年比はそれぞれ5.6%、15.7%、7.4%、9.6%といずれも増額。特別区税は29億2,300万円の増を見込んでいます。歳出では、民生費が48%と約半分を占めますが、高齢福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護と扶助費(※)が多岐にわたること、関連施設運営費も含まれているため当然といえます。

(※)扶助費:生活困窮している人、子育て世帯、障がい者などの生活を支援するための費用。

## 2023年度一般会計歳入予算 198,794,000 (単位:千円)



## 2023年度一般会計歳出予算 198,794,000 (単位:千円)



### ■新規事業

重点事業	予算額
行政評価	1,943万円
■区民アンケート	9,816万円
障害者グループホーム整備促進	6億4,733万円
■すまいる仕出し弁当施行実施	4,775万円
高校生等医療費助成	2億7,028万円
■保育料の第2子無償化	4億9,005万円
■おむつ等宅配定期訪問	1億8,000万円
■学校給食費無償化	13億3,970万円

区長方針に基づいて編成された2023年度予算案であるため、品川・生活者ネットワークは代表質問で関連して、給食食材や仕出し弁当等に対する食の安全、学校給食無償化、羽田新飛行ルート区民アンケート等も取り上げ質疑を行いました。



街頭に出て、恒例の議会報告を行うネットの議員たち。大井町駅 2023年2月

## 子どもの権利条例制定と 子どもの権利擁護に向けた 相談救済機関の設置

2022年、子どもの自死が、小中学生と高校生合わせて初めて500人を超えたというショッキングな統計が厚労省から発表されました。本区は子どもの自死が複数起こったことを忘れてはならず、子ども若者の自死を防ぐ取り組みは急務です。昨年の区議会第4回定例会本会議の一般質問よりも踏み込んで質問をしました。条例については、東京都子ども基本条例の周知啓発に努める。権利擁護機関の設置に対して、一般質問では「子どもの権利擁護機関の設置をすべく、既に検討を進めている」と区長が答弁しているの、具体的な内容を問いました。区の検討内容は、考え方を整理する段階との認識を示し、「引き続き他自治体の事例を研究」と子ども未来部長が答弁。

品川ネットは研究を後押しすべく、子どもの権利擁護に取り組む個人や市民団体と共に子どもの権利条例の制定、そして子どもの相談・救済・回復をサポートする権利擁護機関の設置をめざします。

## 公給食の質の確保と仕出し弁当 ありきではない議論の場を

品川ネットは運動グループと共に、公給食への遺伝子組み換え食品やゲノム編集食品を導入しないよう求め、食の安全について提言してきました。学校給食の「食の安全」を守るのは区の責務です。学校給食無償化に伴い、『質よりコスト』論が区や議会から起きないように念を押ししました。また、すまいるスクールの仕出し弁当の契約基準は、食の質は変えないとの答弁でしたが、長期休みの昼食については、仕出し弁当ありきで



「ジェンダー・クォーター制と地方女性の政治参画・東アジアの経験から」研究プロジェクト調査で、台湾大学の黄長玲教授(左から2人目)よりインタビューを受ける。2023年2月3日

はなく、子どもや保護者の意見を広く聴く場を設けて合意形成を図るよう求めました。

## 学校給食無償化は 都立特別支援学校も対象にすべき

4月から給食無償化の対象は、公立小中学校だけです。特別支援学校は対象外ですが、排除する理由が見当たりません。教育長は、同学校に通っている200名弱の子どもの状況を調査し今後の研究課題とすると答弁。しかし、子どもたちには副籍学校の制度があるため、区教委は状況は把握済みのはずです。対象の拡大を求めました。予算特別委員会で他会派からも同種の意見がありました。

## 羽田新ルート 区民アンケートはどこへいく?



森澤区長は羽田新飛行ルートによる影響を、全区民アンケートを実施し区民の声を基に国土交通省に届けることを公約に掲げました。この公約が区民の期待を集めました。ところがアンケートの内容は、多様化する区民の価値観やニーズを把握し区政に反映させるためと目的が一転。

アンケート対象は高校生以上の区民約36万人ですが、声の届けられない幼児や障がいのある方に対しても、新ルートの影響を聞き取る工夫をするよう求めました。しかし、企画部長は「新ルートに係る影響について保育者や介護者への聞き取りは実施しない」と切り捨てました。結局、羽田新ルートの影響調査ではなく、「区政運営に関するアンケート」でお茶を濁されたとしか思えません。

この他に、リニア中央新幹線問題、障がいがあってもなくてもともに学ぶインクルーシブ教育の拡充、環境基本計画中間見直しに向けた区の施策等々について、質疑を行いました。明らかになった区政の課題を解決するために、皆さまからお寄せ頂いた声を基に政策提案し、「私らしく生きるための政治」の実現に向けて品川・生活者ネットワークは力を尽くします。

編集後記/国会では防衛力強化の議論が喧しい。防衛力強化の議論が軍備増強だけに終始していることに納得がいかない。国防の基本は、食糧の自給力とエネルギー自給力の確保であることは自明の理だ。この議論無くして、軍備だけを考えている国会に異を唱えたい。また、この2つの完全な自給の実現にはかなりの時間を要することも明らかである。よって、日本が進むべき道は「平和外交」しかありえない。(吉田)